



Subaru

ニュース751 '21.1.1

男声合唱団

1月1日元旦

**2021年 新年おめでとうございます。
昴1月レッスン再開！「13回コンサート」
開催にむけて、昴は今年も頑張ります！**



「2019 日本のうたごえ祭典・京都」合唱発表会での「昴」演奏・銅賞受賞！



「群青 一福島に想いを寄せてー」400名の大合唱 指揮：山本恵造 ピアノ：門 万沙子（大阪のうたごえ祭典2020）

No.751(1/5)

新年のご挨拶

2021年新しい年が始まりました。

新型コロナウイルス感染が拡がる中、昨年にも増して人の命の大切さが問われる年となってきました。

アメリカでも大統領が変わり、日本でも首相が変わる変革の年だと思います。

コロナ禍で見えてきた政治の矛盾を大きく解決していく、変革させていく年であると思います。

国民の聲が高まり、うねりとなり、政治を未来に向け拓いていく年であると思います。

昂は人生経験の豊かさを発揮し、昂の持つ声の響きで歌い交しましょう！

本年もよろしくお願いいたします。

2021年1月 男声合唱団昂 団長 千秋昌弘

2021年1月からの練習等について(2020年12月28日(月) 昂運営委員会討議後3役決定)

昂団員並びに関係者の皆様へ

12月の練習等を自粛して、本日28日に来年の活動について判断するとしておりました。

昨日から今日にかけて、運営委員会メンバーのLINE会議を行い様々な意見をいただき、最終的に3役(団長+副団長+事務局長)で方針を決定いたしました。

結論として、来年1月4日からの昂行事をすべて再開いたします。

ただし、飲食店等への自粛要請が1月11日まで出されていることに鑑み、1月12日に 改めて状況確認と活動継続の可否を判断することとします。

なお、コロナの感染状況は決して気を許すことのできないものであることから、レッスン等への参加の判断は、各人でしっかりしていただくようお願いいたします。不安な方は躊躇なくお休みください。

練習参加を見送られる団員は各パートのPMまたはPLへ連絡をお願いいたします。

念のため、1月の昂行事は以下のとおりです。

1/4 14:30 中村教室①

1/8 13:45 中村教室② 16:00 T1パートレッスン

1/12 16:00 昂推進委員会 18:00 Br・Bsパートレッスン

1/14 18:15 千秋教室①

1/15 16:15 技術部会 18:00 定例レッスン

1/17 10:00 運営委員会、13:00定例レッスン前半、15:00 定例レッスン後半 ねむかホール

1/19 18:00 T2パートレッスン

1/21 18:15 千秋教室②

1/29 18:00 定例レッスン

1/31 AM時間未調整 団コン・ピアノ合わせ ねむかホールにて

1/31 14:00～17:00 全員での定例レッスン 会場は桃谷教会(桃谷駅から徒歩数分)

以上よろしくお願いいたします。

良い年末・年始をお過ごしください。

追伸:メールの届かない団員への対応をよろしくお願いいたします。

※ 1月日程の補足をいたします。

1月17日(日)は、予定していた羽曳野市民会館が使えなくなりましたので、ねむかホールにて、前半／後半に分かれての練習となります。

また、1月31日午後は、「桃谷教会」にて全員での練習を行います。

時間は、14:00～17:00です。お間違え無いようお願いいたします。

定例レッスン 参加者割り振り表 2021 年 1 月

(敬称略)

パート	1 月 15 日 (金)	1 月 17 日 (日) 前半	1 月 17 日 (日) 後半	1 月 29 日 (金)	1 月 31 日 (日)
T1	千秋	吉岡	鈴木	吉岡	
	鈴木	吉田	立川	吉田	全
	立川	山本	小西	山本	員
	小西	(千秋)		(千秋)	レ
					ツ
T2	大畠	大畠	大畠	大畠	ン
	更家	更家	更家	更家	桃
	中谷	中谷	中谷	中谷	谷
	米川	米川	米川	米川	教
	伊藤	伊藤	伊藤	伊藤	会
					1
					4
BR	奥村	大橋	奥村	奥村	時
	向井	岩崎	向井	大橋	か
	春木谷	仲谷	吉川	向井	ら
		春木谷	(春木谷)	春木谷	
				吉川	
BS	岡邑	岡邑	光本	岡邑	
	川妻	川妻	東尾	川妻	
	光本	光本		光本	
	はが	東尾		はが	
				東尾	
計	16	18	14	19	

「昂」臨時運営委員会報告

コロナ感染拡大に対する今後の団活動について(2020年12月11日の臨時運営委員会の報告もあわせて掲載いたします)

昂団員の皆さん

大阪ではコロナ感染にかかる「赤信号」の点灯に伴い、12月4日から15日までの自粛要請が出され、昂においても緊急に今月(12月)初めの活動を中止とし、11日に臨時運営委員会を開いて今後の活動について判断することとしました。

12月11日夜、団長以下11名が参加して、予定どおりねむかホールで会議を開催しましたのでご報告します。

会議ではいろんな情報を出し合い、今後のコロナの状況について議論しましたが、大阪府域においては、緊急の自粛が要請されたにも関わらず、日ごとの感染者は増え続けており、人口10万人当たりの感染者数で見ると、北海道と並んで東京都を上回っている状況です。今月末はもとより年が明けたらどう推移

するか全く見通せないのが現状です。

6月20日に予定されているコンサートについても、実施したいという意見と再延期が望ましいという意見などが出て大変難しい議論ともなりました。

今後の判断については、国や府の指標等によりのみ頼るのではなく、可能な限りの情報をもとに、昂独自の判断が重要だという一致をみました。

2時間の議論の末、運営委員会として以下のことを決定しました。

1 12月中のレッスンについて

12月中のレッスン等の一切の行事を中止します。

2 来年1月からのレッスン等について

来年1月以降の活動については、12月28日に、ねむかホールで会議をするのではなく、運営委員がLINEを活用して意見交換をし、判断することとしました。

1月4日から早速、昂の練習日程が入っているため、年内に次の判断が必要と考えることにします。

3 第13回コンサートについて

次回コンサートについては、3月から練習が再開できる状況であれば予定どおり実施することとすることを基本に、来年2月28日に改めて判断することとしました。

そのため、予約済みの豊中市文化芸術センターは解約しないこととしました。

4 団内コンサートについて

2月7日に予定されている団内コンサートは、可能な限り実施することとしました。

場合によっては1月も練習ができないかもしれないが、それまでの練習の成果を披露するという考えで、団内コンサートに臨んでいただきたいという思いです。

ピアニストの先生方の可能な限りのお付き合いをお願いいたします。

今後のコロナ感染の拡大については全く予断を許しません。一部の報道では年末には大阪ではさらに広がるという予想もされているくらいです。

団員の皆さん 万全の感染予防対策のもとに、日々の自主練習をベースに充実した毎日を送られますようお願いいたします。

2020年12月12日

運営委員一同

(投稿) 作曲家 信長貴富さんの「母の思い」2020.12.27 朝日新聞より

かあさんの
せなか

被爆した母の思い 曲に乗せ

作曲家 信長 貴富 さん

ピアノも作曲も独学。両親とも音楽は素人ですが、私の音楽の根底に流れる「命へのまなざし」を育んでくれたのは、被爆者である母です。私は内気な性格で体も弱く、家で1人ですっと何かをしていく子でした。父は強制的にキヤッチボールをさせましたが、母は何も強いることはなかった。兄や姉もやっていた合唱を、高学年の時、小学校で始め、音楽や楽譜への興味がめきめきとわいてきた。単なる記号がなぜ音楽になつていくのか不思議で、「こどもカラー図鑑」で楽譜の仕組みを調べ、小5ごろには自分で曲を書き始めました。カセットデッキ2台で1人で多重録音もしましたね。ピアノの練習を嫌がる姉を見て「習うなんてストレスフルなこと、絶対したくない」と思っていました。父の影響で「男が音楽なんて」という感覚がずっとあり、中学は帰宅部で家で作曲を続けました。都立西高の管弦楽部に入ると音楽好きな男子も多く、やっとなで空気が吸える感じがした。高3で全日本合唱コンクールの選択曲の公募に入選し、新聞に名前が出て、母も喜んでくれました。

でも一番喜んだのは、東京の世田谷区役所に勤めた時です。息子が安定した職に就いて、ほっとしたんでしょね。丸3年で音楽の仕事がしたくなり、辞めると伝え

のぶなが・たかとも 1971年、兵庫県生まれ。上智大学文学部卒業。合唱曲の作曲・編曲を中心に、800以上の作品を発表。朝日作曲賞ほか数々の賞を受賞。「きみ歌えよー」は「バーチャルおかあさんコーラス」の課題曲に 川上田幸一撮影

た時、本当に悲しそうに涙を流したことはつきり覚えています。両親とも広島出身で、母は3歳で被爆しました。髪が抜け、傷ものこっていたので、いじめられたようです。兄2人もなくし、差別も受けた。そうした体験を、淡々と話してくれ、私も追体験した。2000年代以降、同時多発テロやイラク戦争が起き、母から受け継いだ「人間みんな同じだ」という問題意識が、湧き出てくるようになってきました。木島さんの詩で「初心のうた」「起点」などを作曲。詩の情景の近くに母がいたと思うと、曲が浮かんでくる。イラク戦争の子どもたち、シリア内戦で亡くなったジャーナリストの山本美香さんの曲も書きました。タイレクトに戦争や平和を題材にしていなくても、ベースにはいつも母の思いがある。

母がいなければ、今の私はない。一人でも多くの人が私の作品に触れ、背景や歴史を知り、人とながつて歌うことで、母の平和への思いが伝えられたらうれしいです。

(聞き手・宮坂麻子)

作曲家

信長 貴富 さん

2020.12.27 朝日新聞



もう一度考えよう

年末に、東京都の新型コロナウイルス新規感染者が1400人近くになり4日には重症者が過去最多に。全国的にも感染拡大が深刻化する中で、年明けとなりました。初めての本格的な冬に入り、これからますます厳しいたたかひになります。すでに医療機関は各地でひっ迫、崩壊の瀬戸際にあり、感染拡大がこのまま続けば崩壊を食い止められせん。感染拡大をどう抑えるかが重要です。そのためにPCR検査の積極的拡大戦略への転換が不可欠です。なぜか改めて考えます。

PCR検査なぜ大事？

◆無症状感染

新型コロナウイルスのやっかいな特徴は、無症状の感染者からも感染が広がることです。無症状は必ずしもウイルス量が少ないことを意味せず、無症状あるいは発症前の人からもウイルスが排出されます。感染した人のおよそ4割が無症状といわれ、また症状がでた人でも発症前に感染させる割合が高いと指摘されています。ウイルスの潜伏期間は1日から2週間程度と幅があります。

えないだけでなく、感染者が見えないところに感染制御のむずかしさがあります。2003年に世界的に流行したSARSコロナウイルスの場合、感染した人はほぼ重症化したために、感染者が見つけやすく封じ込めに成功したと言われています。発症している人をしっかりと隔離し、治療していけばウイルス全体を封じ込められたのです。

そこで新型コロナウイルスの感染制御のためには、発症している人の治療はもちろん、無症状感染者を早期に発見・保護・追跡し、療養施設に隔離、自宅で待機してもらうなどして他人と接触しないようにして、感染が拡大しないようにすることが決定的に重要です。とこ

発熱、せき、倦怠(けんたい)感などの症状のない感染者は、感染している自覚がなく元気で、平常通り社会的に活動し他人と接触して感染を広げています。ウイルスが目に見えない重要なポイントです。

感染源を発見・保護・追跡

が現在、無症状感染者を発見、保護するという感染制御戦略がとられておらず、無症状者が市中に多く放置されている状況です。

無症状感染者を隔離したのち、その人自身の免疫の力で体内のウイルスを死滅させるのに10日から3週間ほどかかると言われます。ウイルスは人の体の中でなければ増殖できず、他人に感染する前に感染者の体内で死滅させれば、ウイルスの封じ込めになります。

◆発見の力

それでは無症状感染者をどう発見するのか。その力ギがPCR検査です。

PCR検査は遺伝子のDNAやRNAの特定の部分を増幅して検出するもの。鼻咽頭液や唾液の中にある、非常に微小なウイルスの5コピー(5つのウイルス)



PCR検査の検体を採取する医師＝大阪府東大阪市

から検出可能とされ、検出感度の非常に高い検査技術です。PCR検査法を開発したキャリー・マリス(米国)は1993年にノーベル化学賞を受賞しており、その技術は警察捜査や考古学におけるDNA鑑定、輸血用血液にHIVウイルスがないかの検査など幅広く利用されています。

そこで無症状者にもPCR検査を広く行い、感染者を発見・保護・追跡することができ、感染制御、封じ込めにつなげられます。どのように検査を広げていくか。感染が拡大、継続するホットスポットに大規模集中検査をして感染源である無症状感染者を拾い上げることや、医療機関、介護・老人施設など感染が起ると大変なことになる施設で、職員、入所者全員を対象にした定期的な社会的検査が重要なポイントです。すでに社会的検査を実施している自治体が次々にあらわれ

成果も出ています。ウイルスの排出量には時間的な変化があることから、陰性となった場合でも頻回検査が有効であることや、そこに簡易な抗原検査を組み合わせることも提案されています。

世界に目を向ければ、ウイルス封じ込め(ゼロコロナ)を目標に、PCR検査による無症状感染者の発見・保護を徹底して追求してきた中国、台湾、ニュージーランド、アイスランド、スロバキアなどでは感染制御に相当程度成功しています。マスク、手指消毒、3密回避、社会的距離の確保、一定の行動制限など感染経路対策は重要で、強調してしるべきことはあります。日本は衛生観念の強さや生活習慣に加え、こうした努力において国民が非常にまじめに実践してきたことで、感染抑止に効果をあげてきたことは間違いないありません。しかし、それだけでは今に限界です。

ウイルスを排出している無症状者という「感染源」に対し、これを積極検査で発見・保護・追跡する戦略の確立が急務です。

(中相貢一)

(参考資料) 「PCR検査 なぜ大事？」(無症状感染とコロナ対策) 2021.1.5「しんぶん赤旗」より